

がば令和4年度官民研究開発投資拡大プログラム(PRISM)
標準活用加速化支援事業実施方針

令和4年6月23日
ガバニングボード決定

「官民研究開発投資拡大プログラム運用指針」(最終改定:令和4年4月14日ガバニングボード決定)に基づき、令和4年度のPRISM対象施策、配分額を次のとおり定める。

システム改革型

標準活用加速化支援事業実配分額:800.4百万円

	対象施策	概要	府省庁名	配分額 (百万円)
①	B5G環境下でのロボット遠隔制御に係る通信技術の国際標準化	B5G(Beyond 5G)環境下における工場や物流用のロボット遠隔制御に関する通信技術の国際標準化活動を加速し、今後策定作業が進展する B5G に関する国際標準を日本企業に優位なものとする事で、B5G を活用する日本企業の国際競争優位の獲得と国際市場の拡大を図る。	総務省	100.0
②	健康分野でのデータブリッジングシステムの国際標準化	データ取得方法が異なり有効なデータ連携が図れない腸内細菌分析データの連携を可能とするデータブリッジングシステムの国際標準化活動を加速し、健康分野における日本の医薬・食品等企業の国際競争優位の獲得と国際市場の拡大を図る。	厚生労働省	120.0
③	健康食品分野での低たん白加工処理玄米に係る製造工程管理方法の国際標準化	低たん白加工処理玄米に係る製造工程管理方法の国際標準化活動を加速し、健康食品分野での日本の食品関連企業の国際競争優位の獲得と国際市場の拡大を図る。	農林水産省	120.2
④	農業分野でのスマート農機等のデータ連携に係る国際標準化	日本企業が強みとする水田用の中小型スマート農機等のデータ連携に係る国際標準化活動を加速し、日本企業等の国際競争優位の獲得と国際市場の拡大を図る。	農林水産省	191.2
⑤	農業分野での GHG 削減・吸収技術に係る国際標準化	農業分野での GHG 削減・吸収技術に係る国際標準化活動を加速し、グリーン成長産業における日本企業の国際競争優位の獲得と国際市場の拡大を図る。	農林水産省	99.0

⑥	運輸分野で利用される水素タンクの国際標準化	水素エネルギーのインフラとして必要な運輸分野での水素タンク(先行する乗用車以外)に係る国際標準化活動を加速し、水素タンク及び水素タンクを利活用する各種の輸送機材について、日本企業の国際競争優位の獲得と国際市場の拡大を図る。	国土交通省	40.0
⑦	ドローンポートの国際標準化	ドローン利活用のインフラとして必要なドローンポート及び関連システムに係る国際標準化活動を加速し、日本企業の国際競争優位の獲得と国際市場の拡大を図る。	国土交通省	100.0
⑧	ダム再生技術の国際標準化	ダム再生技術の国際標準化活動を加速し、日本企業に優位な国際標準の外国での調達基準への採用を促進することで、日本企業の国際競争優位の獲得と国際市場の拡大を図る。	国土交通省	30.0

(注1) ①～⑧の配分額は、令和3年度補正予算を充てる。

(注2) ④の配分額は10万円未満の配分がある(④の配分額:191,224千円)